



研究用試薬

## ヒストファイブ

第一抗体  
抗免疫グロブリンAポリクローナル抗体(ヒストステイナー用)  
(動物種:ウサギ)

包装: 60テスト(12mL) Code: 713581

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

- 本品は、自動染色装置ヒストステイナー用の試薬 第一抗体である。
- 特異性および抗原分布:ヒト免疫グロブリンA(IgA)のH鎖と特異的に反応する。ヒトIgGやヒトIgMとは反応しない。組織中のヒト正常および腫瘍性形質細胞のIgAを検出できるが、結合組織や血管内にみられる細胞外IgAも同時に染色される。
- 製法:正常ヒトプール血清から単離されたIgAを免疫したウサギ血清より精製し、免疫グロブリン分画を得ている。

## 1. 内容

第一抗体・・・抗免疫グロブリンAポリクローナル抗体(動物種:ウサギ)。  
液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に12mLを含む。

## 2. 使用目的

組織・細胞中のヒトIgAの染色。

## 3. 切片の準備

前処理(抗原賦活化)としてヒストファイブ 抗原賦活化液 pH9 (10倍濃縮)(Code:415211)またはヒストファイブ 抗原賦活化液 pH9 (調製済)(Code:415201)を用いたオートクレーブ処理が必要である(裏面参照)。

■参考:組織の固定状況等によりヒストファイブ 抗原賦活化液 pH9 (10倍濃縮)(Code:415211)またはヒストファイブ 抗原賦活化液 pH9 (調製済)(Code:415201)の代わりにヒストファイブ プロテアーゼ溶液(ヒストステイナー用)(Code:715231)で処理することで、良好な染色結果が得られる場合がある。

## 4. 使用方法

1) 他の試薬とともに試薬ラック(ヒストステイナー用)にセットし、染色を開始する。

2) 染色終了後、すみやかに2-8℃に保存する。

## 5. 染色方法の設定

反応時間を30分間とする。

## 6. 貯法

2-8℃保存。

## 7. 使用上又は取扱上の注意

ヒト由来の検体は、取扱者に感染をひき起こす危険性がある。従って、適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

試薬バーコードラベルを使用する場合は、自動染色装置ヒストステイナーのプログラムにバーコードラベル情報を入力する必要がある。本製品が未登録の場合は、下記データを入力(漢字のみ全角、他半角入力)し、登録すること。

専用ボトルに貼付されているバーコードラベル内の情報

試薬名	抗IgA <sup>+</sup> ポリクローナル抗体
試薬略称(10文字)	IgA-RP
バーコード	IgA-RP
時間(分)	30

- 研究用としてのみ使用すること。

## ■切片の準備

1. 50℃で十分に湯伸ばしした切片(3-4 $\mu$ m厚)をシランなどのコーティングスライド上に張り付け、37℃の恒温器内で16時間以上乾燥させる。
2. 脱パラフィン → 親水化 → PBS
3. 前処理(抗原賦活化)：オートクレーブ処理
  - ①抗原賦活化液pH9を耐熱性バットに入れ、切片を浸す。
  - ②バットに蓋をする。蓋が取れないように輪ゴムでとめる。
  - ③120℃、20分間オートクレーブ処理する。
  - ④圧力が十分下がった後、バットごと切片を取り出す。
  - ⑤バットの蓋をはずし、バットごと切片を常温に20分間以上放置し、ゆっくり熱を冷ます。  
※オートクレーブ処理後は、バットおよび抗原賦活化液pH9等が高温になっている。これらを取り扱う際は、手袋等を使用し火傷に注意する。
- ⑥スライドを抗原賦活化液pH9から取り出し、PBSまたはバッファーでよくすすぐ(3分間ずつ容器を2度かえるか、または洗浄ピンを使用する)。

## ・抗原賦活化液pH9の作り方

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ Code : 415201 抗原賦活化液pH9 (調製済)は、そのまま用いる。</li><li>・ Code : 415211 抗原賦活化液pH9 (10倍濃縮)は、精製水で10倍希釈する。</li></ul> |
|---|

## ■参考：プロテアーゼ処理を用いる場合(おもて面の■参考参照)

### ・使用方法

- 1)ヒストファイン プロテアーゼ溶液(ヒストステイナー用)(Code : 715231)を他の試薬とともに試薬ラック(ヒストステイナー用)にセットし、染色を開始する。
- 2)染色終了後、すみやかに2-8℃に保存する。

### ・染色方法の設定

- (1)プロテアーゼ 反応時間を5分間とする。(組織の固定状況等により、反応時間を5~15分間に設定すると良好な染色が得られる場合がある。)
- (2)第一抗体 反応時間を30分間とする。